

人口減少時代の 地域づくり

入場
無料

日時

2022年
8月6日(土)
13:30~16:55

会場

大分大学経済学部
「黒土 始 記念講堂」(202号教室)

新型コロナウイルス感染症の状況によって
開催方法を変更する場合があります。
その場合は本学HP等でお知らせします。

※ 定員は **150名**までです。

第1講演

「社人研推計による地域別の将来人口見通しと 新型コロナウイルス感染拡大に伴う近年の人口移動傾向の変化」

小池 司朗(こいけ しろう)(国立社会保障・人口問題研究所 人口構造研究部長)

1995年東京大学工学部卒。同大学院総合文化研究科で博士(学術)を取得。2002年、国立社会保障・人口問題研究所に入所。人口構造研究部主任研究官・室長を経て2018年より現職。専門は地域人口学、とくにGIS(地理情報システム)の活用を含めた空間的な視点からの人口学的研究。主な著書に『地域社会の将来人口—地域人口推計の基礎から応用まで—』(東京大学出版会、2020年共著)など。2014~2015年、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局に併任。



小池 司朗

第2講演

「人口減少時代の地域づくりとデジタル田園都市国家構想がめざすもの」

西岡 隆(にしおか たかし)(年金シニアプラン総合研究機構 審議役)

1995年大阪大学理学部卒、数理職として旧厚生省に入省。公的年金の財政計算や医療費の将来見直しなどを作成し、制度改革に関わってきた。2009年、地方勤務を志願し、臼杵市コミュニティ推進室長に着任。2年の勤務を経て本省に戻ったが、2013年、再度臼杵市に赴任し、理事として、医療・福祉、地方創生、移住促進など持続可能な地域づくりに取り組む。2016年に本省に戻ってからは、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部(後に、デジタル田園都市国家構想実現会議)事務局の参事官を兼務しつつ保険局調査課長等を務め、本年6月より現職。



西岡 隆

実践報告

「大分県内のRMO(地域運営組織)設立支援について」

清水 敦史(しみず あつし)(コミュニティサポートおおいた 代表理事)

2017年大分大学経済学部卒。大分県日出町役場に入庁。2019年、同町を退職し、コミュニティサポートおおいたを設立、代表理事となる。大分県内各地の地域事情に詳しい。



清水 敦史

意見交換

コーディネーター 大呂興平(大分大学経済学部教授)